

国公立大学図書館協力委員会平成 27 年度活動報告
(上半期：平成 27 年 4 月～27 年 10 月、予定を含む)

I 委員会構成及び活動記録等

I-1 委員長館

平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日 筑波大学

平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日 慶應義塾大学

I-2 委員館 (*常任幹事館)

国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学

公立大学 *横浜市立大学、*大阪市立大学、首都大学東京、
名桜大学

私立大学 *慶應義塾大学、*早稲田大学、東洋大学、学習院大学、
福岡大学、立命館大学

I-3 会議

1 本会議

1) 第 78 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

2) 第 79 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

2 常任幹事会関係

1) 平成 26 年度第 2 回常任幹事会

期 日 平成 27 年 7 月 24 日 (金)

会 場 京都大学附属図書館

2) 平成 27 年度第 1 回常任幹事会

期 日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

3 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関係

1) 第 10 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

期 日 平成 27 年 7 月 7 日 (火)

会 場 国立情報学研究所

4 国立国会図書館関係

1) 第 21 回国立国会図書館と大学図書館との連絡会

期 日 平成 27 年 10 月 9 日 (金)

会 場 国立国会図書館東京本館

2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

期 日 平成 27 年 11 月 6 日 (金)

会 場 国立国会図書館東京本館

5 著作権関係

1) 平成 27 年度第 1 回大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議

期 日 平成 27 年 6 月 24 日 (水)

会 場 慶應義塾大学三田メディアセンター

2) 出版者著作権管理機構 (JCOPY) との懇談会

期 日 平成 27 年 8 月 12 日 (水)

会 場 出版者著作権管理機構

3) 平成 27 年度第 1 回大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ会議

期 日 平成 27 年 10 月 21 日 (水)

会 場 東京大学附属図書館

I-4 事業

1 大学図書館シンポジウム

テーマ 2020 年の NACSIS-CAT/ILL を考える

期 日 平成 27 年 11 月 12 日 (木) 13:00-17:00 【予定】

会 場 パシフィコ横浜 (第 17 回図書館総合展会場)

備 考 日本図書館協会大学図書館部会と共催

2 出版

1) 大学図書館協力ニュース

Vol.36 No.1~3 発行

2) 大学図書館研究

No.101、102 刊行

3 国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) への派遣

1) ICOLC 2015 年秋季会議

期 日 平成 27 年 10 月 5 日 (月) ~ 10 月 7 日 (水)

場 所 オスロ (ノルウェー)

派遣者 塩出 郁 (大阪大学) 西脇亜由子 (明治大学)

II 春季理事会 (平成 27 年 5 月開催) 以降の主要な事項

II-1 (第 78 回) 国公立大学図書館協力委員会関係

1 国公立大学図書館協力委員会運営要綱の改正について

特定の事項を機動的に調査するため、協力委員会の下に、時限的な組織である「タスクフォース」を置くことができる旨の規定を設けることが承認された。

2 ISO プロトコル変更に対する NACSIS-ILL の対応について

各協（議）会からの回答が、いずれも、システム的な変更は行わないとする「これからの学術情報システム構築検討委員会」の検討結果を承認するものであったことを踏まえ、エージェント方式を含めて今後の動向を踏まえつつ検討を行う「国際 ILL 検討タスクフォース」を設置することが承認された。

3 Web サイト構築タスクフォース（仮称）の設置について

『大学図書館研究』と『大学図書館協力ニュース』のオープンアクセス化を契機として、協力委員会の Web サイトを構築するにあたり、仕様の策定や運用体制の検討等を行うため、「Web サイト構築タスクフォース」を設置することが承認された。また、当該タスクフォースの設置期間は 1 年間とし、各協（議）会や専門委員会等による Web サイトへの記事投稿が可能になった後、その後継として新たな専門委員会（広報委員会（仮称））を置くことが確認された。

4 協力委員会の収支について

『大学図書館研究』及び『大学図書館協力ニュース』のオープンアクセス化後は、両者の収益分担金の収入が見込めなくなることを踏まえ意見交換を行い、収入確保の方法として、各協（議）会からの分担金を増額する方向で引き続き検討を進めることが確認された。

II-2 機関リポジトリ推進委員会関係

1 第 7 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 27 年 1 月 26 日（月）

会 場 国立情報学研究所

2 第 8 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 27 年 5 月 15 日（金）

会 場 国立情報学研究所

II-3 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

1 第 10 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 27 年 3 月 13 日（金）

会 場 学術総合センター

2 第 11 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 27 年 5 月 14 日（木）

会 場 学術総合センター

Ⅱ-4 (第21回) 国立国会図書館と大学図書館との連絡会関係

1 協力委員会の最近の活動について

2 国際 ILL のフレームワークの再検討について

国際 ILL 検討タスクフォースで調査したところ、米国からの依頼資料の殆どが国会図書館の蔵書で対応できることが判明し、今後、国会図書館の重要性は増していくので、必要に応じて米国との協議に加わっていただきたいと要望した。

3 国会図書館未所蔵資料のデジタル化成果物の収集について

第41回文化審議会著作権分科会における著作権法の解釈明確化を踏まえた報告があった。